

茅ヶ崎市民文化会館耐震補強及び改修工事事業 認証評価書の内容

1 事業の概要

事業の名称	茅ヶ崎市民文化会館耐震補強及び改修工事事業
事業の実施者	茅ヶ崎市
事業の実施区域	茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目11番1号
事業の規模	延べ床面積：10,667㎡

2 環境共生の取組の評価結果

代表指標	取組の評価結果
緑化率	10.0%
エネルギー削減率	BEI 0.84
CO ₂ 削減率	18.0%

個別指標	取組項目数	目標項目数
目標1	8	4
目標2	8	8
目標3	3	2
目標4	4	3

3 環境共生の取組の継続・維持管理方針

本認証評価書に掲げる環境共生の取組については、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」の趣旨を踏まえ、適正に継続・維持管理が図られるよう努めるものとする。

また、本事業により整備する施設等を譲渡などにより第三者へ承継する場合、承継する者に対し、本認証評価書に基づく環境共生の取組を可能な限り継続していくよう通知するとともに、速やかに県に対して申し出るものとする。

4 環境共生の取組の実施内容

【目標1】自然が有する機能・魅力を生かした都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
土地	大幅な土地形状の変更を抑制する	・既存のままの土地利用形状とし、土地利用形状の変更は行わない。
	既存の樹林地、草地、水面、農地等を保全する	・敷地境界沿いの緑地など、既存緑地の保存に努める。
みどり	気候緩和のための計画的な緑地を配置する	・敷地外構にはサクラ等の落葉樹を植樹することで、夏は日差しを遮り、冬は葉が落ち程よい日差しとなる。また壁面緑化を設けることで、建物への熱負荷の制御を図る。
	地域・地区の特性、生態系に配慮した緑地を整備する	・クスノキやイチョウといった地域・地区の特性既存樹木を保存する。また周辺地域との生態環境の連続性に配慮し、サクラを設け中央公園からの連続性を創造する。
	貴重動植物種の保全対策をする	・県道、市道に面して、サクラを植樹し、華やかな並木道を創造する。 ・市道側に新たな出入口を設けるとともに、植樹帯RC壁の高さを低くし、視野を広げ道路側から低木がよく見えるよう計画する。 ・中央公園からのみどりの連続性に配慮することにより、都市の生態系への維持保全となっている。
	道路との敷地境界に生垣や緑地緩衝帯などを整備する	・県道側に面する部分に街路樹（サクラ）を設け、敷地外からの景観に配慮している。また、街路樹と連続するように壁面緑化を設け、タイル外壁の建物の圧迫感を軽減している。
	シンボリックな大径木を保全する	・市役所に通じる交差点のクスノキをシンボルツリーとして保存する。
	緑化保全に係る協定締結や独自ルールを策定する	・2階にある市民プラザを生かすため、ハナミズキなどの長く花の楽しめる高木や花を植樹する。 ・既存のまま高木の周りはベンチとし来館者等が自然に触れることができ、通り道の休憩スペースとして整備する。

【目標2】環境への負荷を低減する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
水	上水道の節水設備を導入する	・自動水洗、節水コマ、節水型衛生器具の導入により、水の省資源化を図る。
	雨水利用を目的とした、雨水貯留施設を導入する	・雨水貯留タンクを設置し、屋外散水用として利用する。
エネルギー	通風、熱、昼光などの自然エネルギーをパッシブ利用する	・中間期における外気冷房を行う。 ・吹抜の既存トップライトのルーバーを撤去し、建物中央に自然光を導くことで、照明に使用する電力を縮減する。
	省エネ型の照明、空調換気、給湯設備及び動力設備を導入する	・高効率の熱源機器を採用するとともに、全熱交換型換気扇、潜熱回収型給湯器を設置し、排熱利用するなどエネルギー使用量の抑制を図る。 ・LED照明を採用するとともに、昼光センサーによる自動調光制御や人感センサーによる消し忘れ防止などの照明制御を行う。 ・エスカレーターは光電装置による停止待機式自動運転を行う。
	その他、エネルギー利用の効率化・合理化に係る取組を実施する	・人数の変動が大きいホールについては、CO2濃度による外気量制御を行うことで、外気負担の低減を図る。

資源循環	設備の維持管理対策・更新性等の措置を講じる	<ul style="list-style-type: none"> ・執務空間は、OAフロアを採用し、将来の可変性に配慮する。 ・非常用発電機設備を採用し、EPS等の更新用スペースを確保することにより、日常業務に影響することなく更新作業を可能にする。 ・将来の設備機器の更新時を考慮した設備方式を採用し作業スペースや搬入ルートを確認する。
	ごみ分別収集システムを導入する	<ul style="list-style-type: none"> ・1階搬入口側に、ごみ集積所を設け、ごみの分別収集を行う。
	公共交通への近接性を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・既存建物の耐震補強改修であるため、既存構造躯体を利活用している。

【目標3】 環境とのバランスのとれた交通計画による都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
交通	公共交通機関への乗り継ぎ・乗り換え環境を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・最寄り駅から市民文化会館までは徒歩7分程度の歩行圏内であり、施設出入口から駅まで遊歩道や公設エレベーターやエスカレーターを経由することで、交通量の多い道路等横断せず安心、安全に乗り継ぎできる環境となっている。なお、既存の歩道橋「ふれあい橋」は、当該建物2階市民プラザへの接続を維持した計画としたので、バリアフリーで茅ヶ崎駅に接続している。
	自転車・歩行者空間を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者用出入り口と自転車用出入り口を分けることにより安全な歩行空間を確保している。
	公共交通への近接性を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・市民文化会館は電車の最寄り駅から徒歩7分程度と歩行圏内にある。また、施設の目の前にはバス停があり、容易に乗り継ぎが可能となっている。

【目標4】 地域アメニティを創出する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
地域 アメニティ	地域景観に配慮し、電線の地中化や建築物等の高さ、形状、色等の工夫をする	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の建物の親和性に配慮し、既存建物外観は替えず、既存タイル張りのままの外観としている。また、タイルはアースカラーである茶系であり、自然素材であることから、周辺の自然、緑地との調和を図っている。
	地域に開かれたコミュニティスペースやサービス拠点などを整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・1階エントランスホールにはベンチを設け、練習室前にも「交流ロビー」を計画している。2階にもレストランおよびふれあいや語らい空間を設け、2階外部の「市民プラザ」は広場利用と歩道橋も接続しており散策ルートとしても活用されている。また展示室を設けることで、地域住民の文化活動の場としても利用できる。
	高齢者、障害者等に配慮した建築物、歩行空間等を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・内外部ともに階段には手摺を設け、車いす利用者が円滑に利用できるよう、新規にスロープやエレベーター、エスカレーターを設置している。また高齢者や障害者等誰もが、使いやすいユニバーサルデザインとし、多目的トイレを一般施設より多く設置している。
	利用者が健康・快適に過ごせる環境づくりに係る取組を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス張りのエントランスや既存トップライトを利用することにより、昼光利用の促進を図るとともに、老朽化していた照明設備や空調設備などを全て更新して室内環境を再整備し、衛生環境にあってもトイレは和式ブースから洋式ブースへ全て入れ替え、利用者が快適に過ごせる空間を提供する。